

札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想

平成 29 年（2017 年）2 月

札幌市

1 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の位置づけ

- 1-1 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想策定の背景・目的
- 1-2 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の対象範囲
- 1-3 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の構成

2 札幌駅交流拠点先導街区の役割

3 実現に向けた取組の考え方

- 3-1 街並み形成の基本的な考え方
- 3-2 機能集積の基本的な考え方
- 3-3 環境配慮・防災の基本的な考え方
- 3-4 基盤整備の基本的な考え方

4 実現に向けた取組の進め方

- 4-1 段階的な取組のイメージ
- 4-2 取組体制のイメージ

1-1 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想策定の背景・目的

<背景>

札幌駅交流拠点におけるこれまでの検討の経緯

- 第一次整備構想（昭和53年度）：鉄道高架化
⇒鉄道高架後の駅南北の土地利用や基盤施設整備について検討
- 第二次整備構想（平成4年度）：札幌駅南口土地区画整理事業
⇒南口駅前広場等の公共施設の配置計画や事業手法、歩行者動線、駅前の空間構成等について検討
- 「札幌駅交流拠点再整備構想案」（平成24年度）
⇒札幌の国際競争力を高めるため、札幌駅交流拠点が目指すべき将来像を提示

社会潮流の変化

- 東日本大震災を受けた防災意識の向上
- 環境低負荷型都市づくりの推進
- 国際的な都市間競争

札幌・北海道の動向

- 北海道新幹線の札幌延伸
- 国際空港機能の強化
- 2026年冬季オリンピック・パラリンピック招致

- 社会潮流の変化や各種上位計画の見直しに対応して、札幌・北海道の国際競争力をけん引する札幌駅交流拠点の機能強化検討の必要性
- 北海道新幹線の札幌開業を踏まえ、ターミナル駅直近にも関わらず土地の有効利用が図られていない先導街区の整備方針、及び交通結節点としての機能強化の検討の必要性

<目的>

各種上位計画※の考え方をもとに、札幌駅交流拠点再整備構想案の内容も踏まえ、札幌駅交流拠点のまちづくりを先導し中核となる街区の整備や、各事業主体で検討が進められている関連事業に対する市の基本的な考え方について整理することを目的とします。

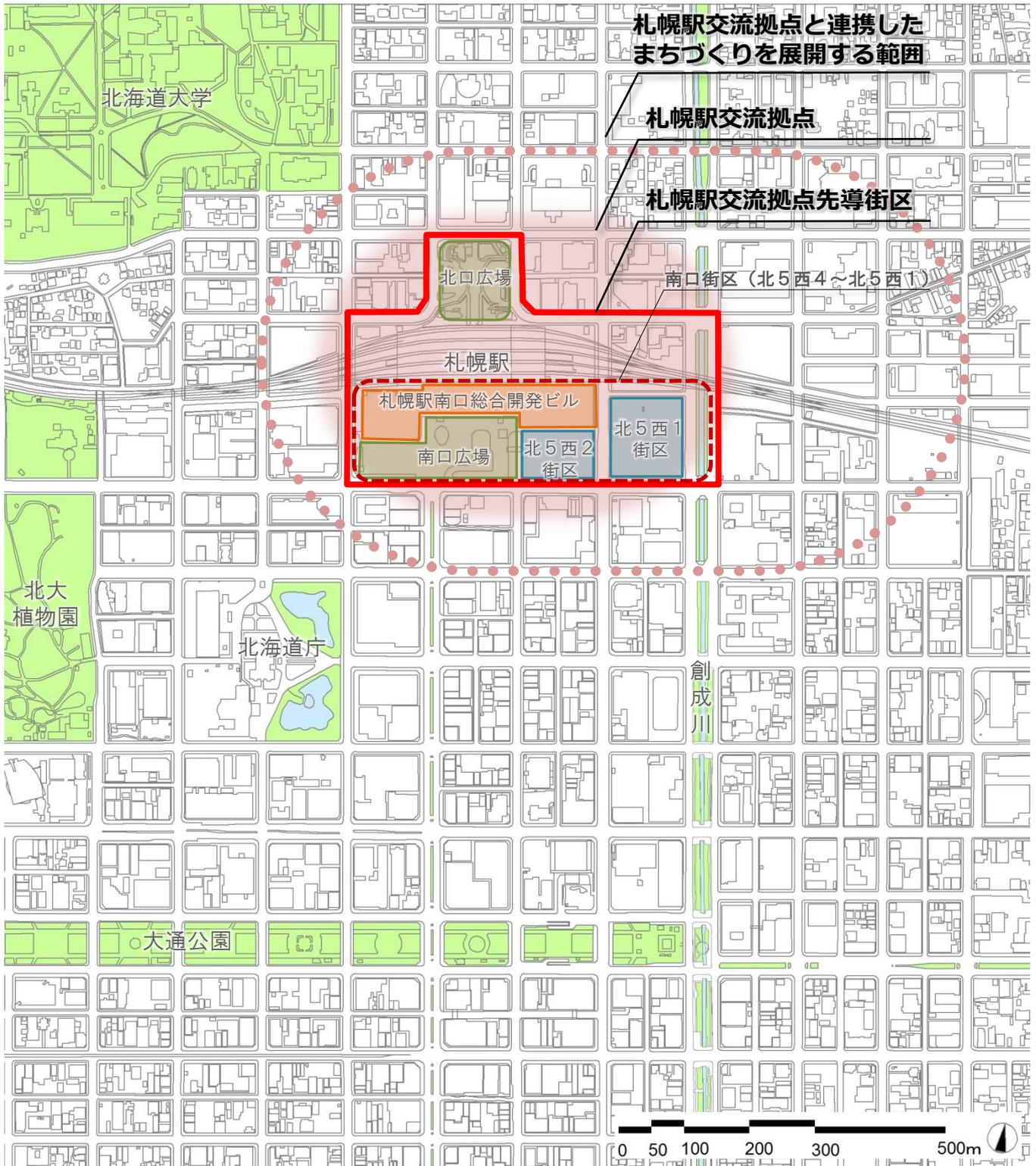
これを基に、今後策定を予定している（仮称）札幌駅交流拠点まちづくり計画や各種関連事業の整備計画等について、関係する事業者や行政機関との検討を行うとともに、周辺地区との連携を推進していきます。

※各種上位計画：札幌市まちづくり戦略ビジョン、第2次都心まちづくり計画等

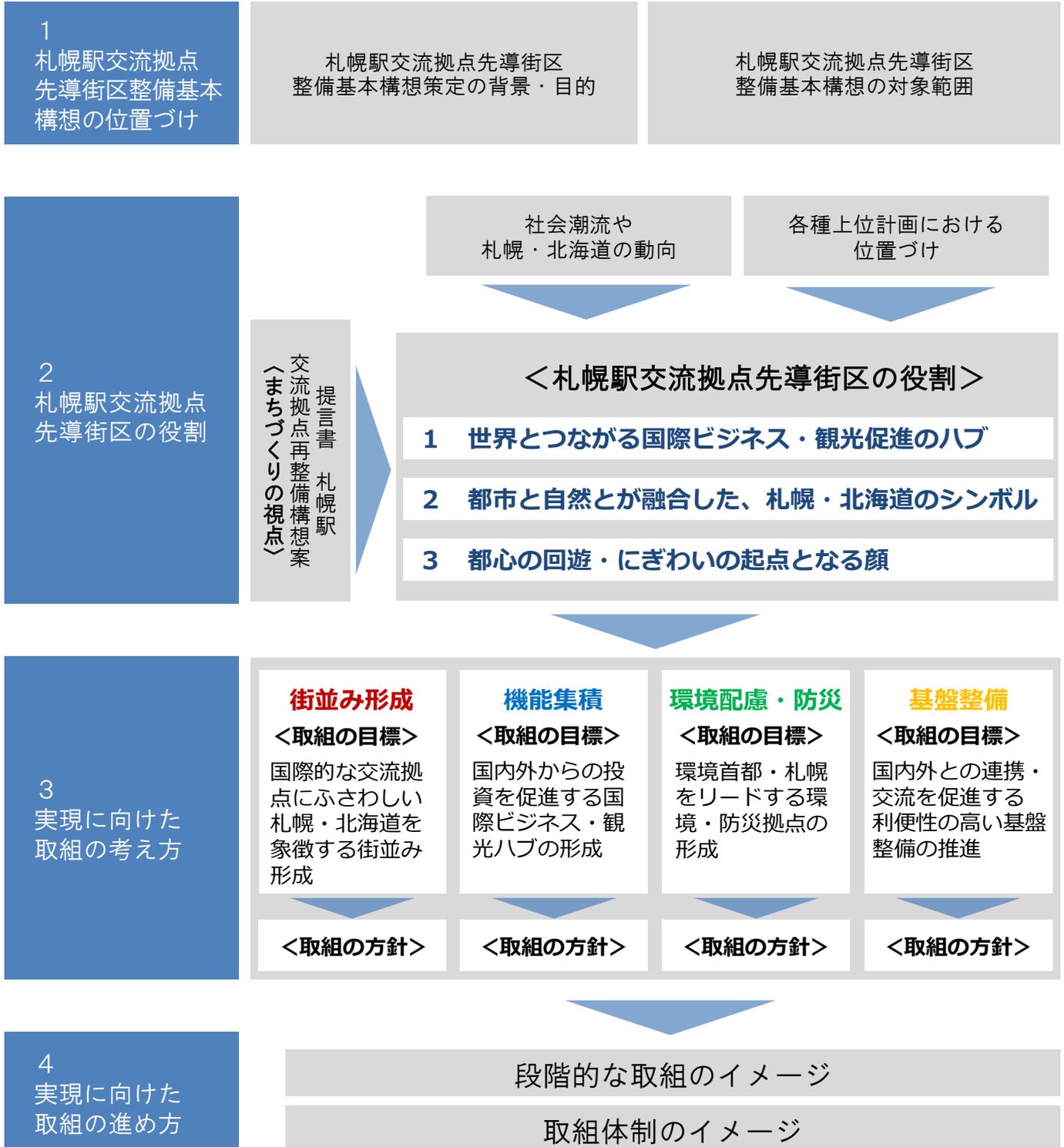
1-2 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の対象範囲

札幌駅交流拠点のまちづくりを先導する街区として、主要な交通施設やそれらに関連した開発が見込まれる、JR札幌駅、南北の駅前広場、バスターミナルのある北5西2街区、及び駐車場等で暫定利用中の北5西1街区を含んだ下図の約17haの範囲を対象とします。

また、先導街区に隣接する周辺街区については、道路・歩行者ネットワークの構築や機能集積、街並み形成などにおいて調和のとれたまちづくりを推進する観点から、先導街区と連携した施策の推進が重要であるため、本構想の中では周辺街区のまちづくりに資する基本的な考え方についても触れます。



1-3 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の構成



上位計画における札幌駅交流拠点の位置づけや、社会潮流の変化、札幌・北海道の動向に加え、「提言書 札幌駅交流拠点再整備構想案」のまちづくりの考え方から、札幌駅交流拠点先導街区が担う役割について、「高次都市機能の集積」、「広域交通アクセス機能、交通結節機能の強化」、「豊かなみどり」、「環境・防災」、「起点・シンボルとなりうる空間形成」等に着目し、以下のとおり整理します。

上位計画での位置づけ

札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉

- 活力があふれ世界を引きつける都心
 - 札幌の顔にふさわしい重点的なまちづくりを推進します
 - 都心のにぎわい・憩いの創出
 - 交流拠点の整備・・・新たな活動や交流の場となる札幌駅交流拠点等の整備を検討、実施

第2次都心まちづくり計画

- 都心まちづくりの骨格構造
広域的なネットワークが結節する札幌の玄関口にふさわしい広域交流を先導する拠点
- 交流拠点形成・強化の指針

北海道・札幌の国際競争力をけん引し、その活力を展開させる「起点」の形成

◎ 道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化

- 駅前広場や北5西1、北5西2街区の一体的な整備による、札幌のシンボルとなる拠点の形成
- 国際水準の業務・観光・宿泊・商業等の高次都市機能の集積
- 北海道新幹線札幌開業を見据えた、都心の起点となる一大交通拠点の形成
- エネルギー供給拠点の整備やみどり豊かな空間の形成等、環境・防災性能に優れたまちづくりの展開
- 創成川を挟んだ東西市街地の連携を促す空間の形成

社会潮流の変化、札幌・北海道の動向

- 東日本大震災、熊本大地震等を受けた防災意識の向上、社会的要請
- 地球環境問題に対応した環境低負荷型都市づくりの推進
- 激しさを増す国際的な都市間競争への対応
- 空港・港湾の国際化の流れと、それらを結ぶ広域交通アクセス強化の必要性
- 北海道新幹線の札幌開業とその具体化に向けた動き
- 冬季オリンピック・パラリンピック招致の動き

提言書 札幌駅交流拠点再整備構想案

＜札幌駅交流拠点の拠点形成の方向性＞

- ・ 道都さっぽろの“玄関口”にふさわしい顔づくり
- ・ 北海道・札幌をアピールする場の形成

＜札幌駅交流拠点の役割＞

集客交流都市としての国際競争力を高めるための拠点

＜札幌駅交流拠点再整備の基本方針＞

「人」：魅力的で質の高い人間中心の空間の形成

- ・ 札幌駅南口街区（北5西1～北5西4街区）の機能強化・魅力向上
- ・ 協調的呼応空間の形成
- ・ まち歩きの基軸回廊の形成
- ・ 魅力的なパブリックライフの展開

「環境」：環境首都・札幌の実践空間の形成

- ・ 豊かなみどりを備えた拠点の創出
- ・ 環境低負荷型のまちづくりの先駆的な展開
- ・ 次世代型都市基盤「スマートエネルギーネットワーク」の形成

「創造」：産業や文化を創造する交流の場の形成

- ・ 産業創造を支える高次都市機能の充実
- ・ 札幌・北海道の価値をPRする情報発信機能の充実
- ・ 産業創造のための交流・連携の実践

「交通」：東アジアにおける北の一大交通拠点の形成

- ・ 北海道新幹線を含めた多様な交通モードによる広域連携軸の強化
- ・ 道内の空港・港湾・他都市とのアクセス機能の強化
- ・ 再整備効果等を都心内に波及させる都市基盤の整備
- ・ 多様な交通モードを結びつける交通結節機能の向上

札幌駅交流拠点先導街区の役割

1 世界とつながる国際ビジネス・観光促進のハブ

国内外への広域交通アクセス機能を更に強化し、国際的に評価されるオフィスやホテルなどのビジネス環境の創出と新たな価値を創造する交流・情報発信機能の強化、北海道の豊かな自然や食文化などの資源を活かした周辺地域や都市との連携や、更なる観光促進を支える利便性の向上など質の高い都市空間を創出します。

また、災害が少ない地域特性に加え、自立分散型電源の確保や交通結節機能の強化により、安心して働き、訪れ、生活できる信頼性の高いまちの形成をけん引します。

2 都市と自然とが融合した、札幌・北海道のシンボル

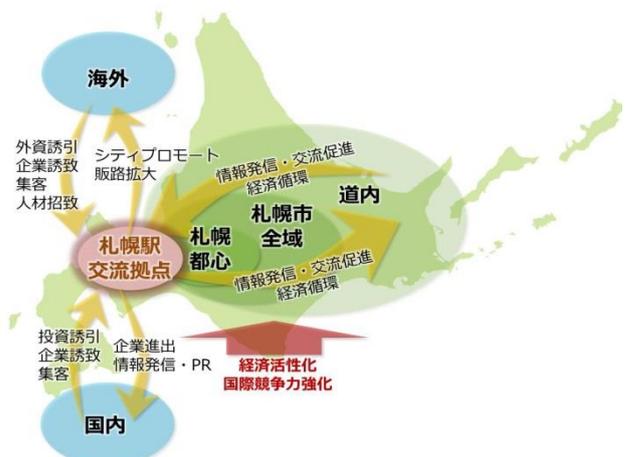
札幌・北海道の魅力である都市と自然との調和を感じられる、都市機能と豊かなみどり・水などが融合した都心のみどりのネットワークをつなぐ、みどり豊かな空間を形成し、札幌・北海道を象徴する都市空間を創出します。

また、環境性能に優れた建築物群の整備や、都心のエネルギーネットワークの拠点として周辺街区をけん引する機能を確保し、環境首都・札幌のシンボル空間として最先端の環境配慮型都市を世界にPRします。

3 都心の回遊・にぎわいの起点となる顔

駅と街をつなぐ起点として、安全で快適な乗換や移動が可能な空間の整備と、まちのにぎわいの連続に資する重層的な歩行者ネットワークを形成するとともに、誰もがわかりやすく、使いやすい環境を創出します。

また、段階的な街区再編や市街地の更新の機会を捉え、公共空間と建築物の一体的な街並み形成を誘導し、世界都市札幌の玄関口にふさわしい空間を創出します。



札幌駅交流拠点先導街区の役割の実現に向けて、「街並み形成」、「機能集積」、「環境配慮・防災」、「基盤整備」の4つのテーマごとに、具体的な整備等も見据えた取組の考え方（目標と方針）を提示します。これらの取組を進めるにあたっては、行政と民間の役割分担、連携、協働により実現を目指します。

＜実現に向けた取組の考え方＞

街並み形成

＜取組の目標＞

国際的な交流拠点にふさわしい札幌・北海道を象徴する街並み形成

＜取組の方針＞

- 方針1：南口全体での魅力的で質の高い都市空間の形成
- 方針2：パブリックライフ※の起点となる南口広場の充実・強化
- 方針3：北5西1・北5西2街区の一体的な整備によるシンボル空間の創出
- 方針4：四季折々のにぎわいが感じられるオープンスペースの形成
- 方針5：周辺建物を含めたにぎわいのある街並み形成
- 方針6：拠点にふさわしい高次都市機能の集積と高層部の景観形成

機能集積

＜取組の目標＞

国内外からの投資を促進する国際ビジネス・観光ハブの形成

＜取組の方針＞

- 方針1：札幌・北海道の魅力・情報発信機能、にぎわい機能の整備
- 方針2：国際水準・多言語対応の滞在・サポート機能の整備
- 方針3：札幌の優位性を活かした企業誘致・産業創造の促進機能の整備

環境配慮・防災

＜取組の目標＞

環境首都・札幌をリードする環境・防災拠点の形成

＜取組の方針＞

- 方針1：都心の面的エネルギー利用の強化・拡大に資するエネルギー拠点の整備
- 方針2：先進的な環境配慮型建築のショーケースとしての整備
- 方針3：エリアエネルギーマネジメントシステムの活用
- 方針4：環境首都・札幌の象徴となる潤いあふれる緑化空間の形成
- 方針5：帰宅困難者※の受入空間や情報提供機能の導入による防災拠点機能の強化
- 方針6：自立分散型電源の確保による事業継続性の高い拠点整備
- 方針7：周辺地区、行政との災害時連携体制の構築

基盤整備

＜取組の目標＞

国内外との連携・交流を促進する利便性の高い基盤整備の推進

＜取組の方針＞

- 方針1：世界と都心・周辺都市をつなぐ交通結節機能の強化
- 方針2：交流と創造を促進するオープンスペースの連続的配置
- 方針3：周辺街区とつながる重層的なネットワークの構築による回遊性の向上

※パブリックライフ：働く、学ぶ、遊ぶ、住むといった基本的な都市の生活を支える交流・社交活動
言葉を交わす直接のやりとりだけではなく、人と人、人と都市空間との豊かなコミュニケーション活動

※帰宅困難者：自宅までの距離が遠く、徒歩による帰宅が困難な者

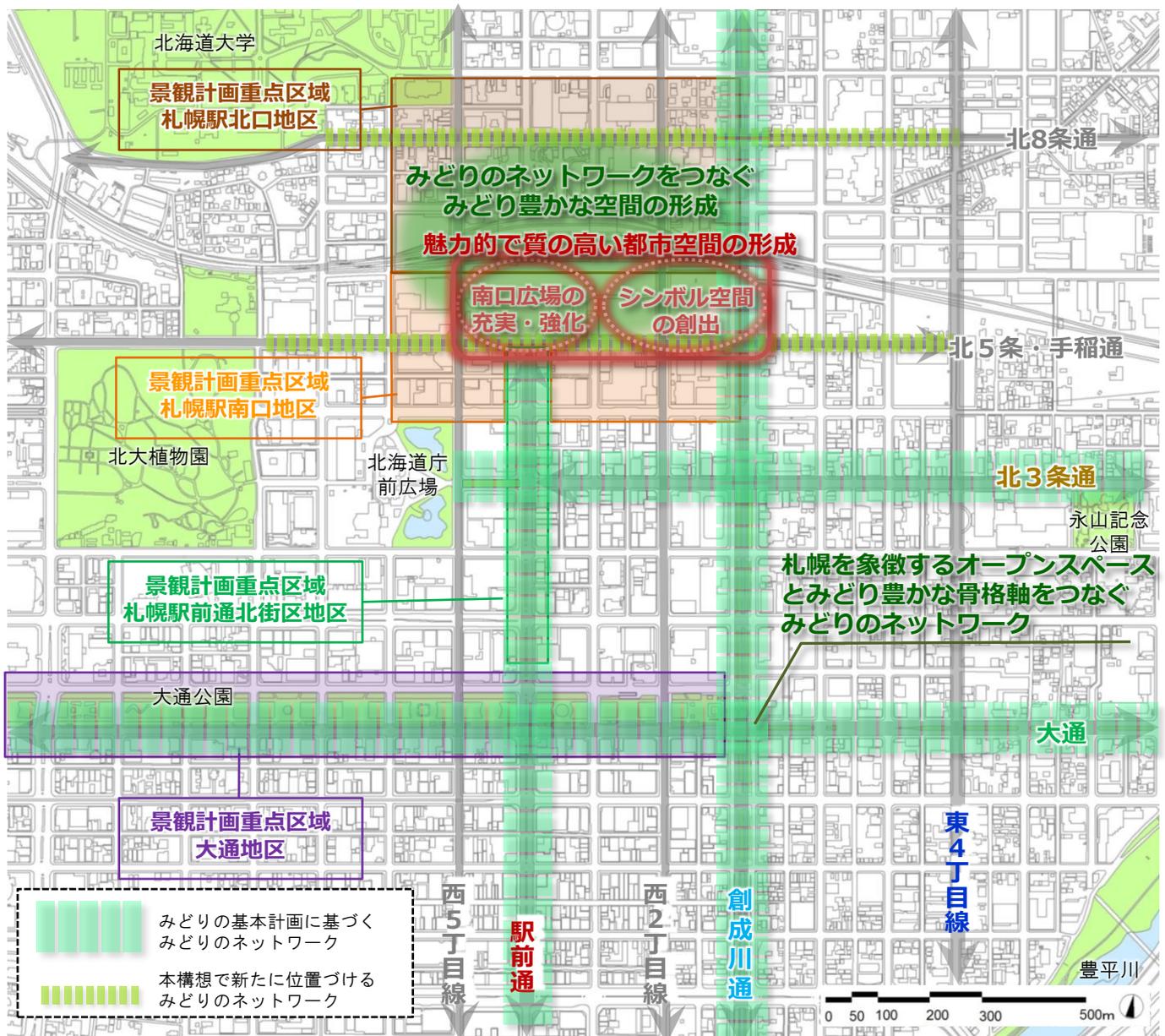
3-1 街並み形成の基本的な考え方

＜取組の目標＞

国際的な交流拠点にふさわしい札幌・北海道を象徴する街並み形成

札幌駅南口開発に伴い、人の広場の創出とそれを囲んで連続的な街並みを形成する建物の整備が行われ、市民のパブリックライフの場として活用されてきました。今後は、新幹線延伸や冬季オリンピック・パラリンピックの開催を見据え想定される、駅施設の改修や北5西1・北5西2街区の土地利用転換に伴い、「世界都市さっぽろ」の玄関口にふさわしい新たな顔づくりが求められます。

その際、活力やにぎわいのある街並み形成、北海道らしい自然を感じられる都市空間の創出、周辺の建物との調和、駅と街をつなぐにぎわいやみどりの連続に配慮し、先導街区全体で札幌・北海道を象徴する街並み形成を図ります。



<取組の方針>

方針1：南口街区全体での魅力的で質の高い都市空間の形成

- 街区ごとに特色ある空間形成と、街区間の一体性やにぎわいの連続性の確保
- 都心のみどりのネットワークをつなぐ、みどり豊かな空間の形成
- 南口街区全体での建物壁面ラインの形成
- 北5条・手稲通沿道の街並みの連続と圧迫感の軽減



駅前に大規模な緑化空間を形成する広場
(品川 セントラルガーデン)

方針2：パブリックライフの起点となる南口広場の充実・強化

- 市民や来訪者の憩い、出会い、ふれあいを生み、パブリックライフの起点となる既存の南口広場における歩行者空間の確保、イベント空間等の充実
- 市民や来訪者が訪れた際に安心感や愛着が持たれる空間の形成
- 南口広場と呼応する、隣接街区での協調的な空間の形成



市民等のパブリックライフの起点となる広場
(ポートランド Pioneer Courthouse Square)

方針3：北5西1・北5西2街区の一体的な整備によるシンボル空間の創出

- 札幌の先進性、国際性、環境首都をアピールするこれまでにないシンボル空間の形成
- 南口広場と創成川をつなぐ連続したオープンスペースの創出
- 創成川通の水・みどりと調和し、札幌らしさが感じられる潤いある空間の形成
- 民間活力を活用したオープンスペース等の整備
- 市街地再開発事業などの活用による一体的な整備



水と緑と調和した潤いある空間
(那覇 さいおんスクエア)

方針4：四季折々のにぎわいが感じられるオープンスペースの形成

- 1年を通じて多様な活動が展開される空間の整備
- 四季の様子や、みどり、雪、赤レンガなど札幌らしさが感じられるオープンスペース・街路空間の形成
- 都心の街並み、緑化・水辺空間や都心を囲む山並みなど札幌らしい景観を眺望できるビューポイントの確保



1年を通してにぎわいある活動が展開されるオープンスペース

(富山グランドプラザ)

方針5：周辺建物を含めたにぎわいのある街並み形成

- 世界都市さっぽろの玄関口にふさわしい駅前の顔づくり
- 周辺建物の低層部におけるにぎわい機能、交流機能の配置による、人々の活動が表出する設えの形成
- 1年を通じてみどりが感じられる屋内空間づくり
- 札幌駅南口総合開発ビルの低層部デザインの踏襲や軒線・表情線※の連続性の確保による調和した街並みの形成



店舗等ににぎわいある顔で囲まれた広場
(ポズナン（ポーランド）Stary Rynek)

※表情線：建物のデザイン線・デザインの切り返し線など

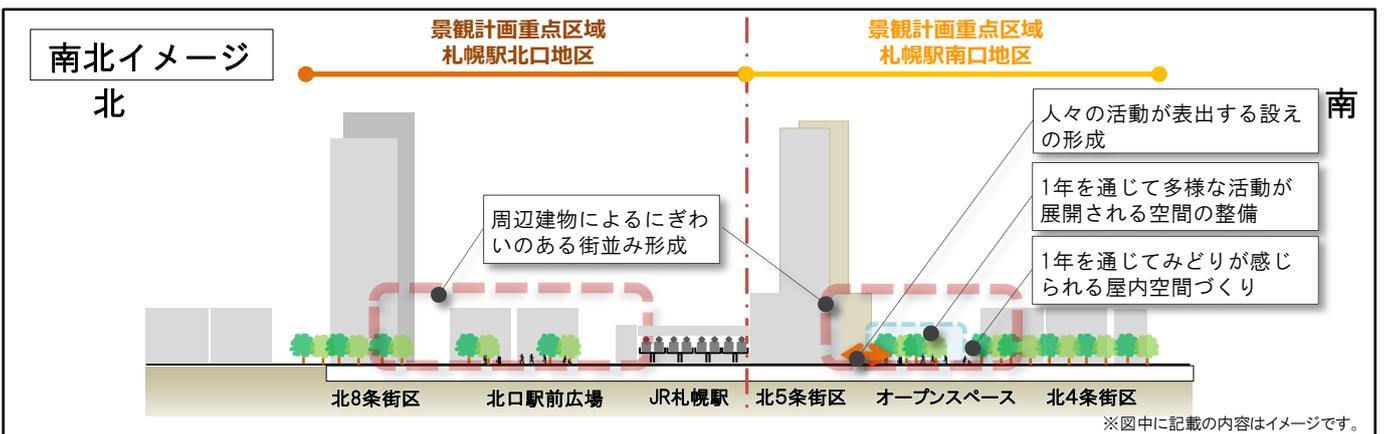
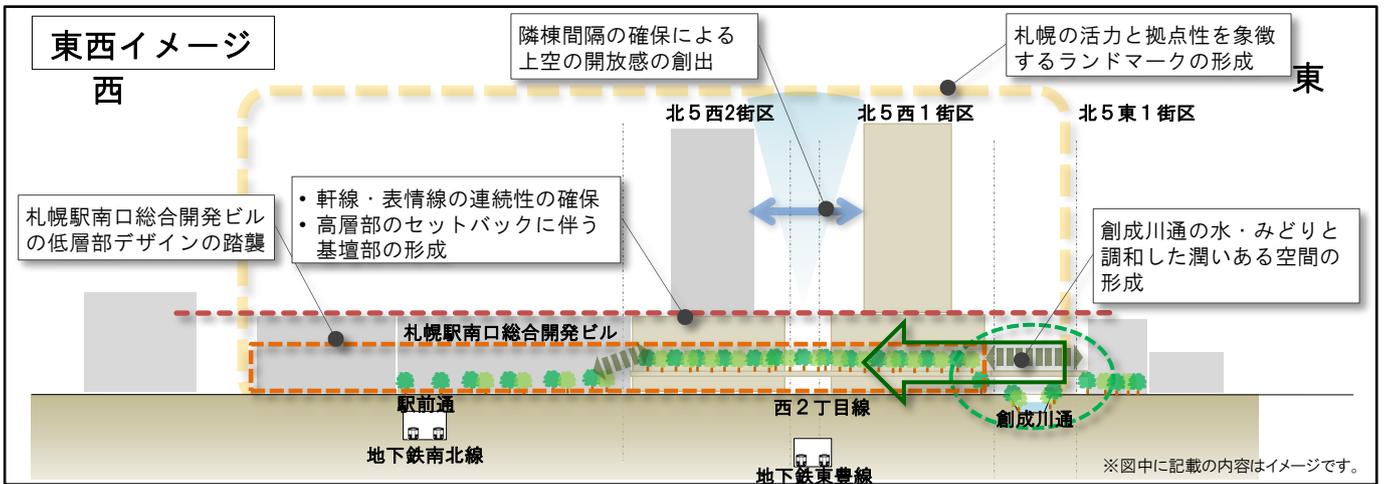
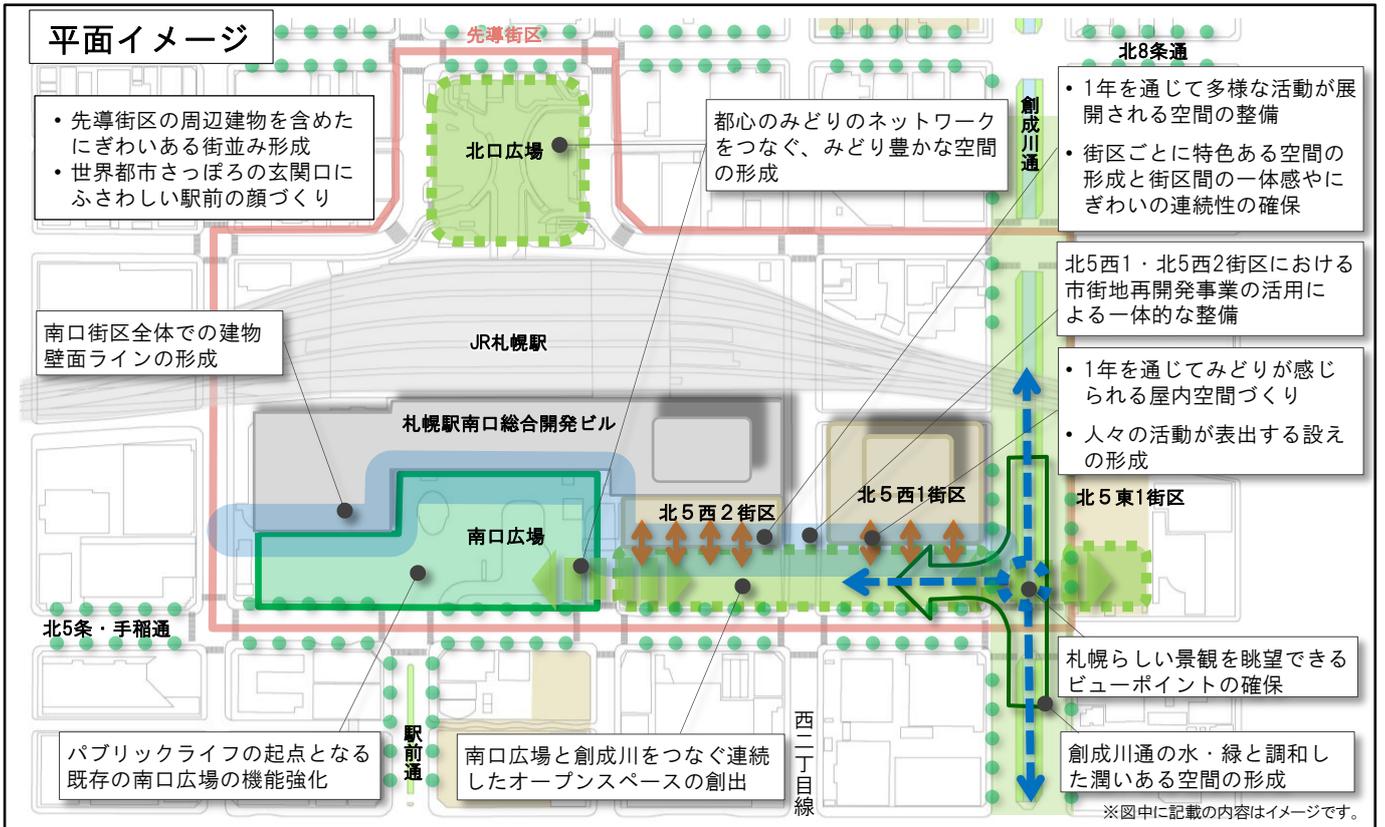
方針6：拠点にふさわしい高次都市機能の集積と高層部の景観形成

- 地上部の連続的なオープンスペースの確保と拠点に求められる高次都市機能の集積に伴う土地の高度利用
- 札幌駅を中心とした札幌の活力と拠点性を象徴するランドマークの形成
- 高層部のセットバックに伴う基壇部の形成による、街並みの連続性の確保と圧迫感の軽減
- 隣棟間隔の確保による上空の開放感の創出



札幌のランドマークである札幌駅と上空の開放感

<整備・検討イメージ>



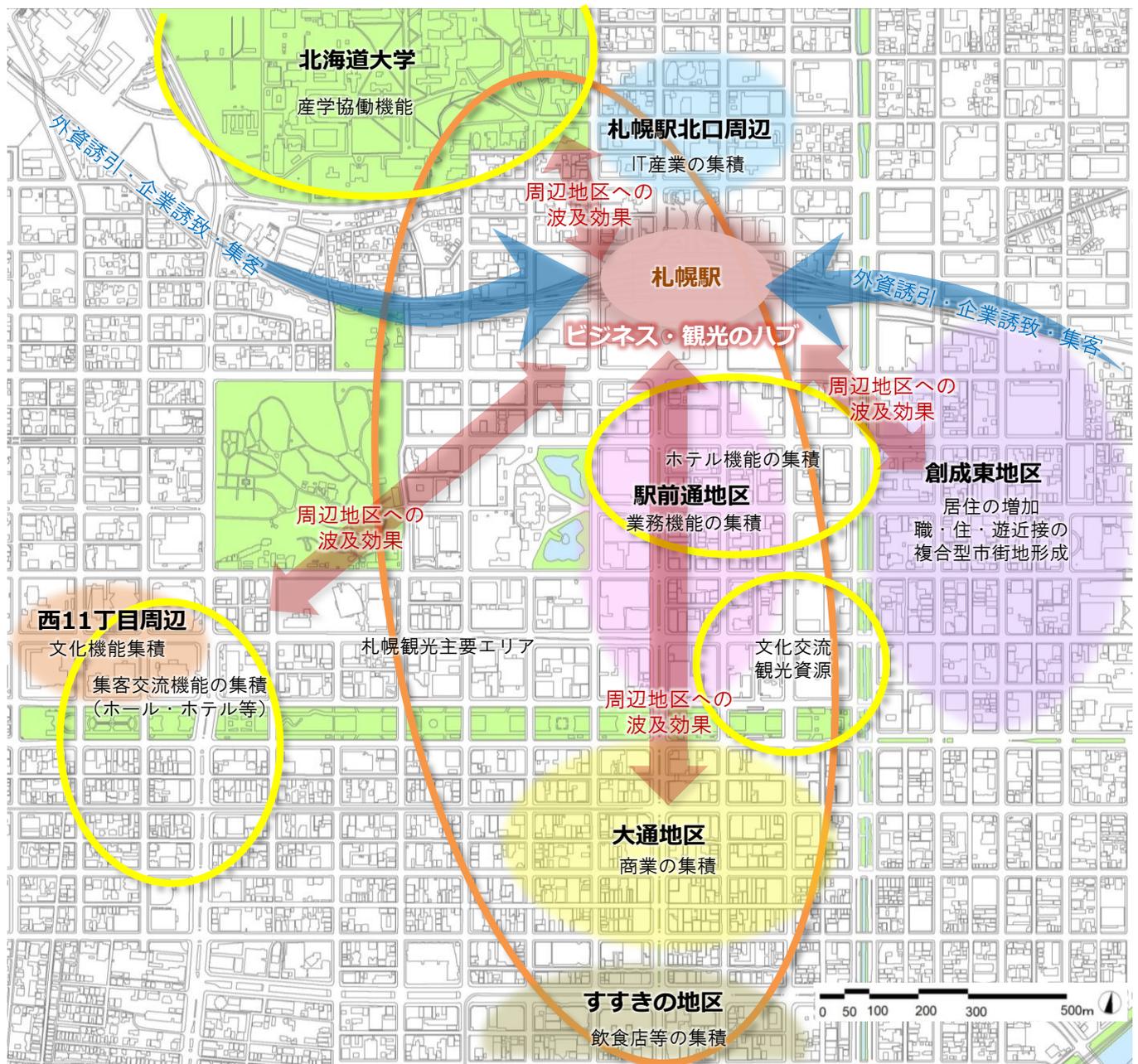
3-2 機能集積の基本的な考え方

＜取組の目標＞

国内外からの投資を促進する国際ビジネス・観光ハブの形成

急速に加速するグローバル社会において、札幌・北海道の更なる国際競争力の強化をけん引する拠点の形成が求められます。その実現に向けて、都心の周辺地区や周辺都市とも連携し、国内外から投資や集客を呼び込む魅力的な都市観光、国際ビジネスのハブとなる拠点機能の集積を目指します。

特に、札幌駅の広域アクセス機能の強化やオリンピック・パラリンピック招致などを契機に札幌・北海道のグローバル化が一層高まることを見据え、世界都市札幌の活力を象徴する高規格なオフィスや宿泊施設、商業施設などの高次都市機能の集積を図ります。



＜取組の方針＞

先導街区に求められる機能として、民間の知識や創意工夫、資本等を積極的に活用し、以下の機能を整備していくことが望ましいと考えます。

方針1：札幌・北海道の魅力・情報発信機能、にぎわい機能の整備

- ビジネスや観光で札幌を訪れる方々の市内滞在や周遊に資する総合案内・サービス窓口（コンシェルジュ）機能
- 札幌・北海道の魅力を発信するPR・ショールーム（シティプロモート）機能
- 札幌駅から周辺街区へのにぎわいの連続性を生み出すとともに、北海道の魅力を発信する商業・娯楽機能



多言語対応のコンシェルジュが対応する
情報窓口 (Tokyo City i)

方針2：国際水準・多言語対応の滞在・サポート機能の整備

- 海外からのビジネス・観光滞在を促進するとともに、オリンピック・パラリンピック開催を見据えた国際水準の宿泊機能
- 医療・教育・商業・娯楽等の生活支援機能



国際水準の宿泊機能

方針3：札幌の優位性を活かした企業誘致・産業創造の促進機能の整備

- 国内外からの企業移転・誘致を促進する災害に強く事業継続性の高い高規格なオフィス
- 北海道の企業・研究機関のPR・ビジネスマッチング機能
- 起業・新産業創出をサポートするビジネス支援機能（行政手続・専門家案内等）



高規格なオフィス空間

※機能配置については既存建物・地下街等を含め、最も効果的な配置を総合的に検討する

3-3 環境配慮・防災の基本的な考え方

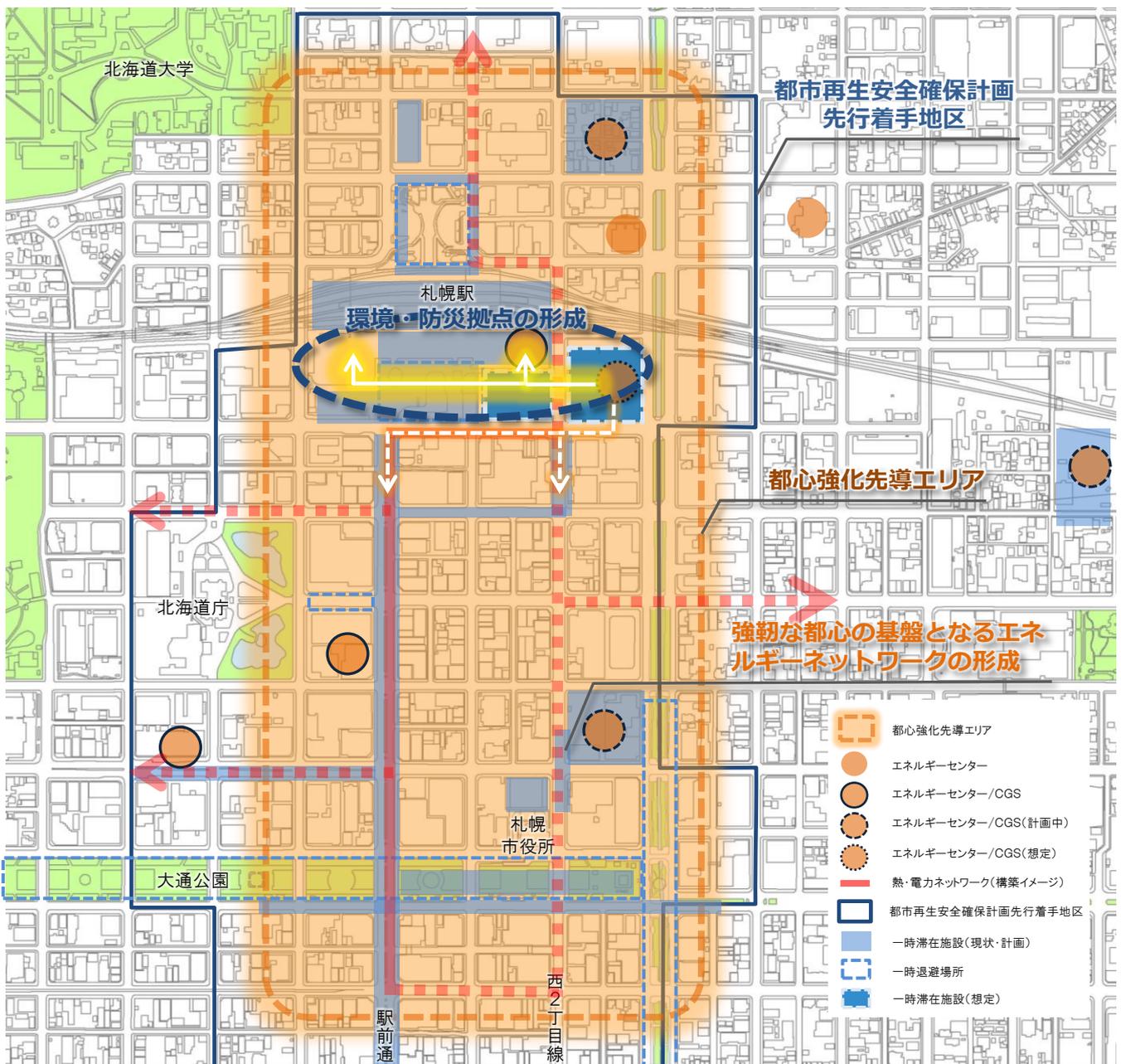
<取組の目標>

環境首都・札幌をリードする環境・防災拠点の形成

札幌駅を中心とした都心エリアでは地域冷暖房ネットワークの整備や雪冷熱の活用など、効率的なエネルギー供給やCO2削減に向けた先進的な取組を実践してきました。

今後、札幌駅交流拠点先導街区は、世界をリードする環境首都・札幌のモデル地区として、周辺地区との連携も視野に入れた新たな高効率プラントの整備や最先端の環境配慮型建築を整備するとともに、環境首都札幌をPRする拠点として先進的な取組を国内外へ発信していくことを目指します。

また、災害が少ない地域特性を活かし、分散型電源の確保や災害時の一時避難対応など、ビジネスパーソン・観光客から選ばれる都市としての更なる機能強化を目指します。



<取組の方針>

方針1：都心の面的エネルギー利用の強化・拡大に資するエネルギー拠点の整備

- 都心強化先導エリアの建物更新やエネルギーネットワークを構築するためのプラントスペースの確保と、高効率な熱・電力を供給するCGS※の導入
- 都心強化先導エリアの一層の環境負荷低減を目指したエネルギーネットワークへの接続
- 積雪寒冷地の特性を活かした再生可能エネルギーの積極的活用

※CGS:コージェネレーションシステム。発電時の排熱などを用いて、電力と熱を供給し、エネルギーの効率的利用をはかるシステム。



モニュメントとなるエネルギープラント
(イズリントン Bunhill Energy Center)

方針2：先進的な環境配慮型建築のショーケースとしての整備

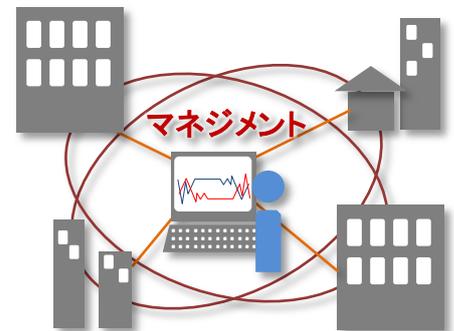
- 環境負荷が少なく、快適な室内環境を形成する最先端の環境配慮型建築の整備
- 先進的な環境技術が感じられ、環境首都のPRとなる建築デザイン
- 札幌市の環境に関わる取組の見える化



環境政策のPR展示
(コペンハーゲン House of Green)

方針3：エリア エネルギー マネジメントシステムの活用

- 都心強化先導エリアのエネルギー管理による効率的なエネルギー供給・利用マネジメントシステムの導入
- 複合用途の導入によるエネルギー利用の平準化



<都心強化先導エリアについて>

「第2次都心まちづくり計画」において、国内外からヒト・モノ・投資を呼び込み、北海道・札幌の経済発展をけん引する都心まちづくりを先導するエリアとして位置づけています。

都心強化先導エリアにおいては、先導的に環境負荷の低減とBLCP※強化の取組などを進め、都心地区の自立機能や付加価値を高めることを目指します。

※BLCP (Business and Living Continuity Plan) : 事業・生活継続計画

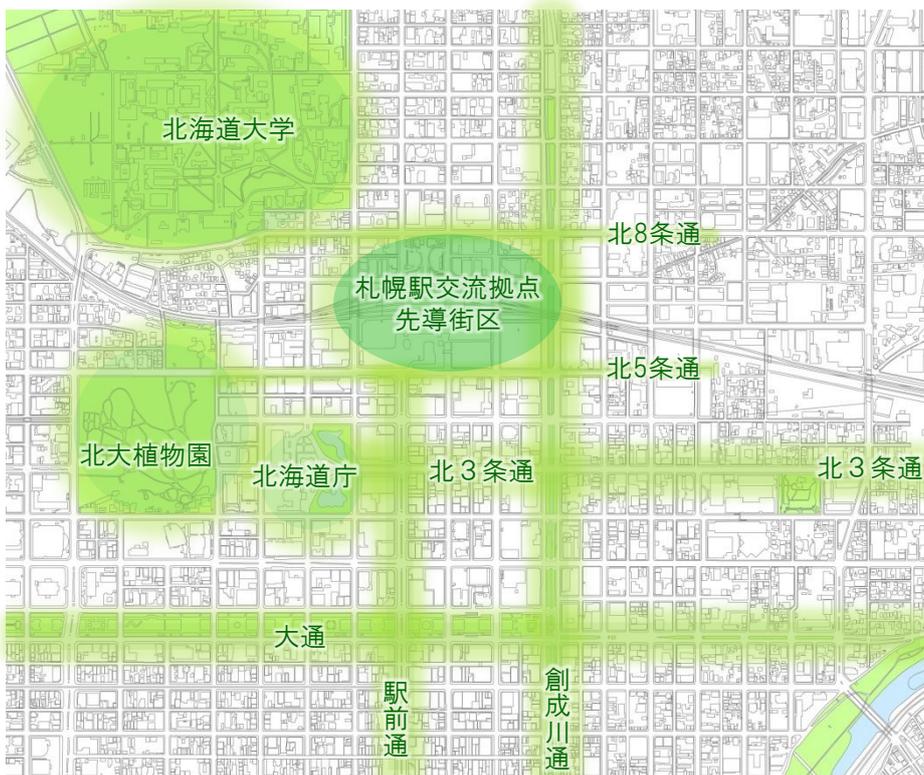
方針4：環境首都・札幌の象徴となる潤いあふれる緑化空間の形成

- 都心のみどりのネットワークをつなぐ、みどり豊かな空間の形成
- 既存の南口広場や創成川通の豊富な緑化空間の継承・拡大
- 広場や沿道の街路空間、屋上など多様な緑化空間の整備



豊かな緑と水で潤いある街区を形成
(大阪 グランフロント大阪)

<都心のみどりのネットワークについて>



街路樹等により豊かな沿道緑化を形成する都心の骨格軸と大規模な緑化空間を形成するみどりの核をつなぎ、都心のみどりのネットワークの形成を図ります。

(整備目的)

- 潤いある街並みの形成
- 環境負荷の低減
- 環境首都・札幌のPR

方針5：帰宅困難者の受入空間や情報提供機能の導入による防災拠点機能の強化

- エネルギー供給、給水、物資提供が可能で、外国人や多くの観光客にも対応した避難・滞在スペースの確保
- デジタルサイネージ等による情報提供機能
- バス等による鉄道代替輸送を想定したバスターミナル空間の活用の検討



一時退避場所として活用可能な避難・滞在スペースの確保

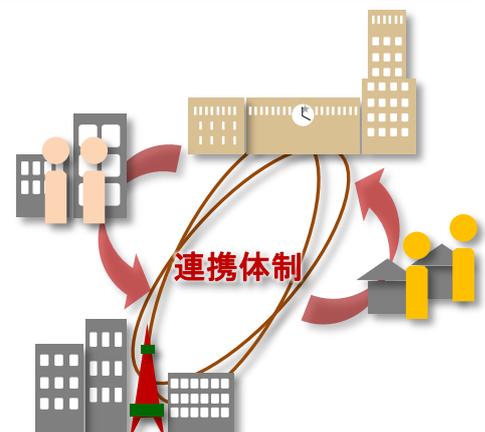
方針6：自立分散型電源の確保による事業継続性の高い拠点整備

- 自立分散型電源を確保し、災害に強く、事業継続性の高い街区の形成
- 周辺施設とのエネルギー融通により、事業継続性の高い都心強化先導エリアを形成する拠点整備



方針7：周辺地区、行政との災害時連携体制の構築

- 防災協働社会の実現に向けた市民、企業、行政等との連携体制の構築とエリアマネジメントへの波及
- 官民協働の取組により、防災性の向上に寄与する都市空間ネットワークの充実（退避経路や一時滞在施設となる地下歩行ネットワークとの連携等）



3-4 基盤整備の基本的な考え方

＜取組の目標＞

国内外との連携・交流を促進する利便性の高い基盤整備の推進

札幌駅は札幌・北海道を代表する玄関口として鉄道、バス、自動車の広域交通結節点を形成していますが、今後の社会潮流の変化や国際競争力強化に対応した、更なる交通結節機能の強化が求められます。

特に、新幹線延伸に伴う乗換利便性の強化や滞留空間の創出、ビジネスパーソンや観光客の更なる増加への対応、都心と高速道路を結ぶ都心アクセス強化、オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れた、乗換空間のバリアフリー化や多言語対応の案内整備など誰もが利用しやすい環境づくりを推進します。

また、周辺街区と連続した歩行者ネットワークを形成し、安全かつ快適な歩きやすい都心回遊の拠点となる空間整備を目指します。

＜取組の方針＞

方針1：世界と都心・周辺都市をつなぐ交通結節機能の強化

- 広域交通結節機能の強化（新幹線・都心アクセス強化）
- 街区整備にあわせた交通施設の再整備
- 各交通施設をつなぐ人を中心とした動線の整備、バリアフリー化
- 乗換動線におけるゆとりある滞留空間の創出（待合空間など）
- ユニバーサルデザインに対応した施設整備や国際対応の案内サイン表示などによる乗換利便性の向上



鉄道や地下鉄を認識しやすい吹抜け空間
（ベルリン中央駅）

方針2：交流と創造を促進するオープンスペースの連続的配置

- 多様なアクティビティが展開し、連続的につながる立体的なオープンスペースの整備
- オープンスペースにおける、札幌・北海道を象徴する開放的な設え



サンクンと地上が立体的に連続した広場
（姫路駅北駅前広場）

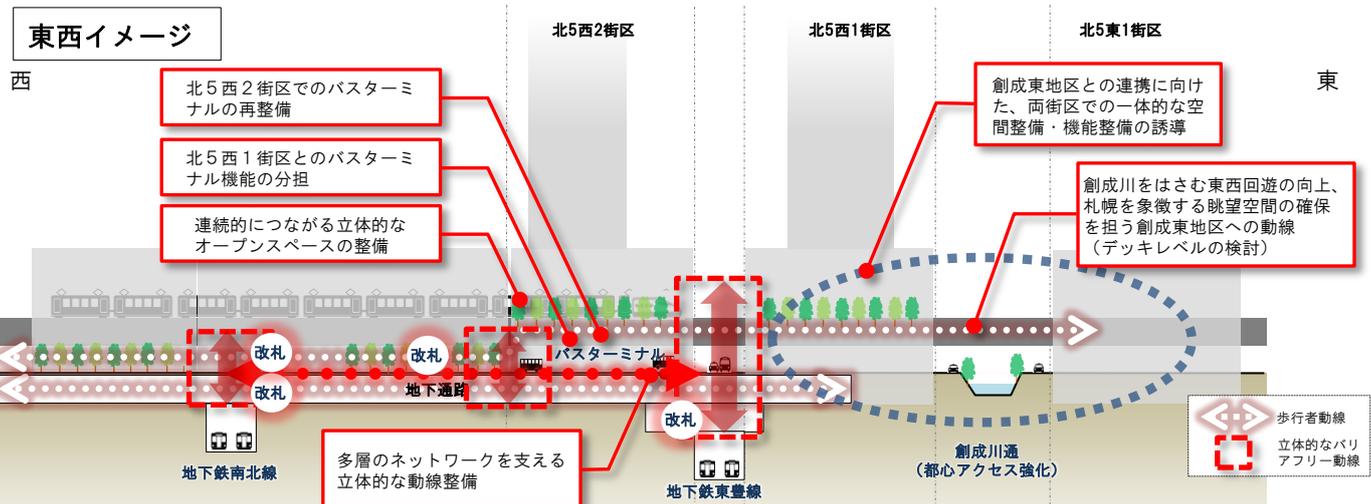
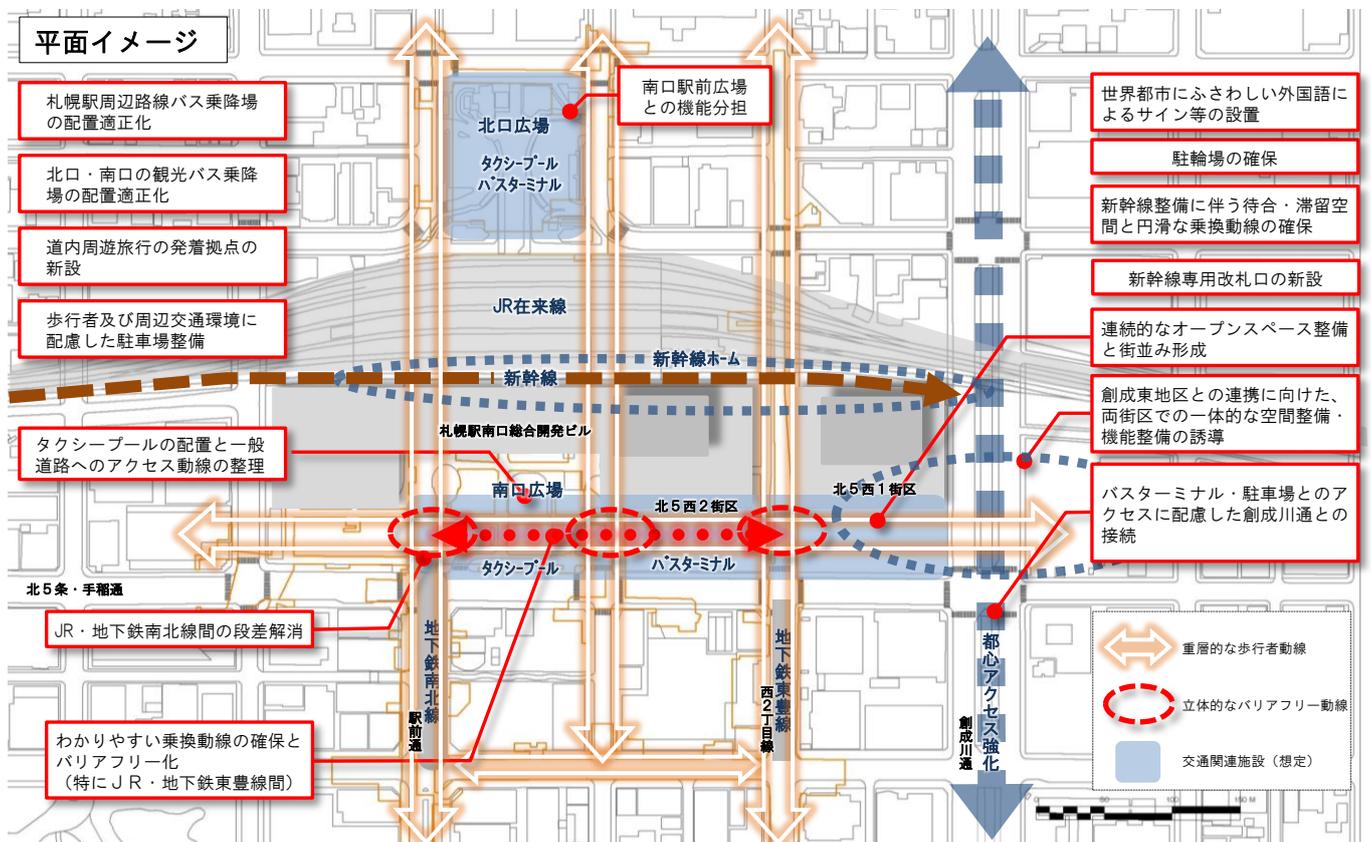
方針3：周辺街区とつながる重層的なネットワークの構築による回遊性の向上

- 当街区と周辺街区をつなぐ重層的な歩行者ネットワークの形成
- 地下～デッキレベルの多層のネットワークを支える立体的な動線の整備



地下のにぎわいを建物内へ引き込む
吹抜け空間（渋谷ヒカリエアーバンコア）

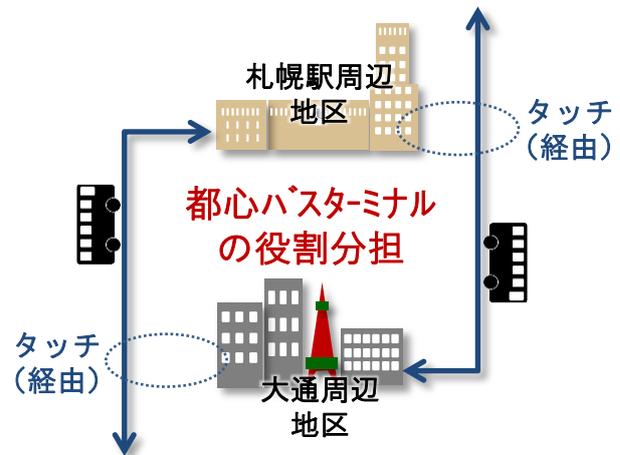
＜整備・検討イメージ＞



※図中に記載の内容はイメージです。

<都心バスターミナルの機能配置について>

利用者の利便性の向上や、バス運行上の効率性の観点から、札幌駅周辺地区と大通周辺地区にバスターミナル機能を配置し、運行は相互の地区にタッチ（経由）することを基本として検討を進めます。



<札幌駅バスターミナルの位置について>

- 都心の交通状況やバス停の配置状況から、主な運行経路はバス専用通行帯が設置され南北一方通行道路である西2丁目線と西3丁目線が最適
- 北5西1街区に移転すると、北5条・手稲通や創成川通への負荷が増し、交通状況が悪化
- JR在来線や新幹線、地下鉄などとの乗継を考えると、移動距離が短いことが望ましい

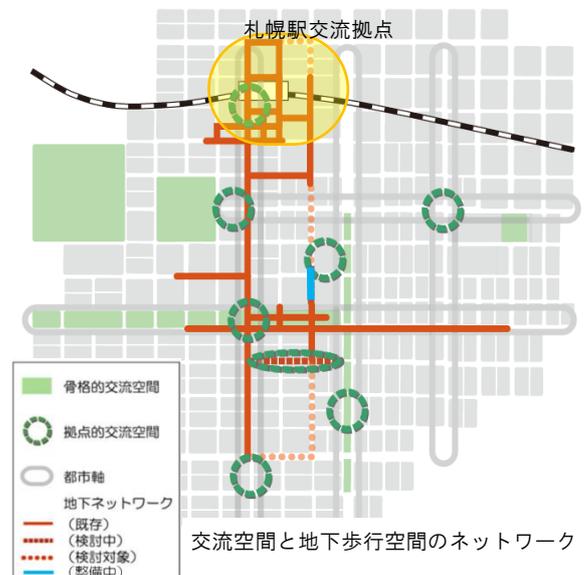
バスターミナルは北5西2街区での建替えを基本に検討を進め、北5西1街区への機能分担については今後の検討課題とします。

<都心の地下歩行ネットワークについて>

札幌駅交流拠点のまちづくりの取組を効果的に都心全体へ波及させるため、西2丁目線などの地下通路整備や沿道ビルの歩行空間との連携による、地下歩行ネットワークの拡充を検討します。

<ネットワーク拡充で期待されること>

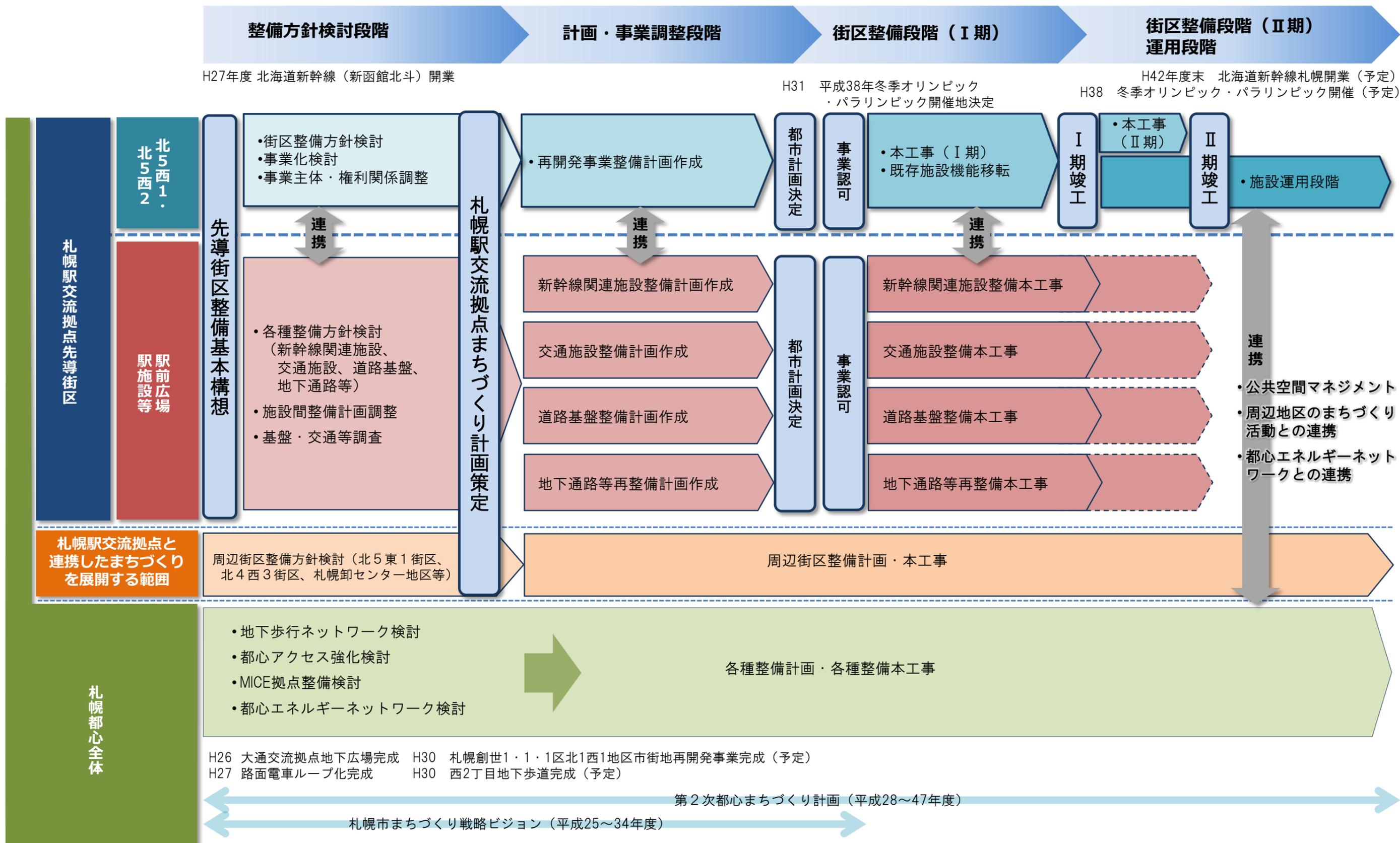
- 都心に訪れる市民や国内外からの観光客等にとって、季節や天候に左右されない、安全かつ快適な歩行環境の充実
- 沿道ビルの建替えや新たな接続による、地上地下の回遊性の向上やにぎわいの創出



4 実現に向けた取組の進め方

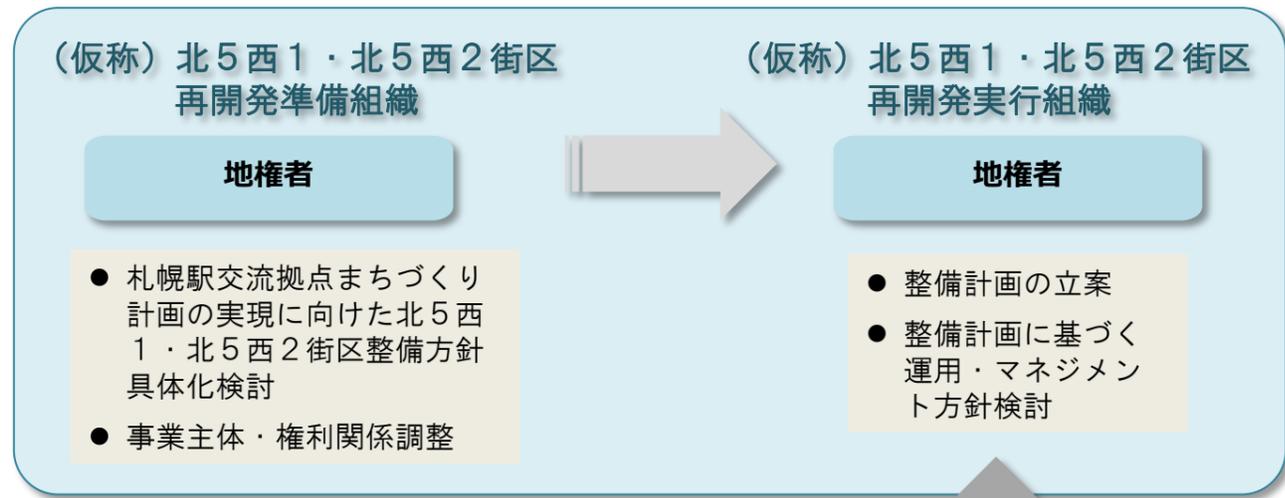
4-1 段階的な取組のイメージ

中核となる北5西1・北5西2街区の一体的な整備の検討に加え、民間事業者や各種公的機関等様々な主体が検討している関連事業との連携・調整を図りながら、当構想の実現に向け取組を進めていきます。

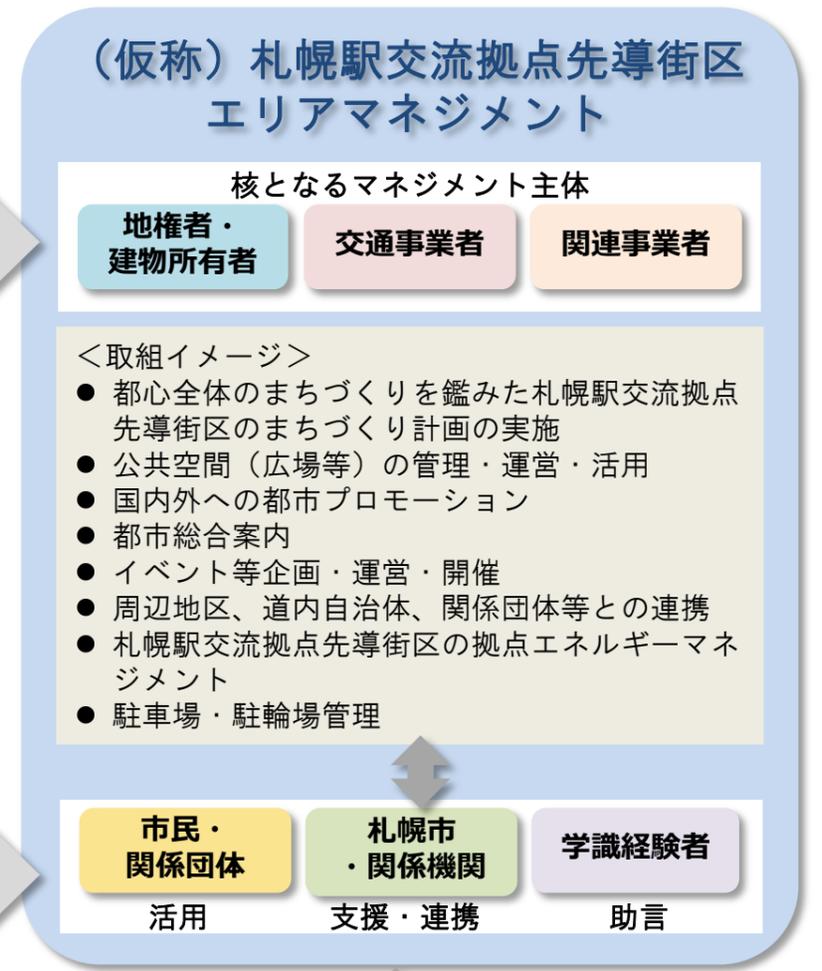




■北5西1・北5西2街区の整備方針検討・事業調整

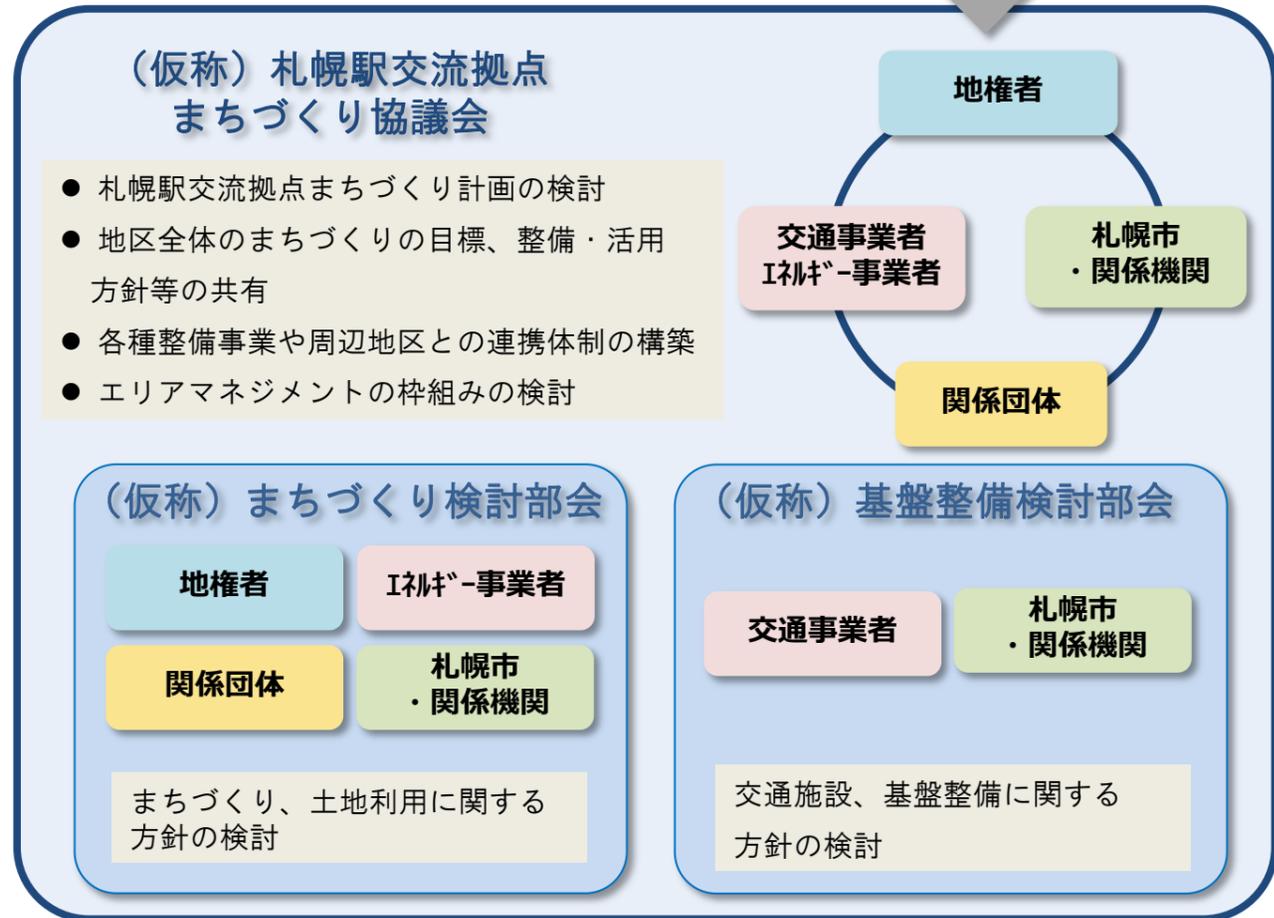


■札幌駅交流拠点先導街区マネジメント体制の構築

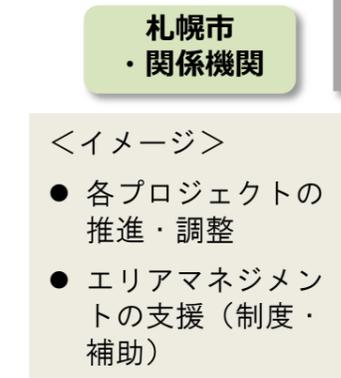


■札幌駅交流拠点のまちづくり計画の策定

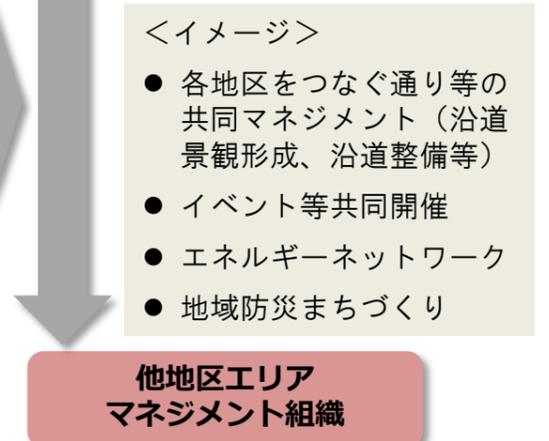
■検討調整



■都心まちづくりの実現・支援



■他地区エリアマネジメントとの連携



【資料】 パブリックコメント

1 意見募集概要

(1) 意見募集期間

平成 28 年 12 月 16 日（金）～平成 29 年 1 月 16 日（月）

(2) 意見募集方法

持参、郵送、ファックス、電子メール、ホームページ上の意見募集フォーム

(3) 資料配布・閲覧場所

○札幌市役所本庁舎

1 階ロビー／2 階市政刊行物コーナー／5 階都心まちづくり推進室

○各区役所総務企画課

○各まちづくりセンター（本府・中央、東北、鉄西、鉄東）

2 意見の内訳

(1) 意見提出数及び意見提出件数

○意見提出者数 25 人

○意見提出件数 42 件

構想案の項目	意見数	割合
1 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想の位置づけ	0 件	0.0%
2 札幌駅交流拠点先導街区の役割	0 件	0.0%
3 実現に向けた取組の考え方	35 件	83.3%
4 実現に向けた取組の進め方	1 件	2.4%
構想案全般に関すること	6 件	14.3%
合計	42 件	100.0%

(注) 構想案と直接の関係がないご意見（他事業へのご意見等）については、非公開とし、ご意見に対する本市の考え方は記載していません。

(2) 意見の概要と札幌市の考え

3 実現に向けた取組の考え方			
意見 番号	該当 ページ	意見の概要	札幌市の考え方
1	9	冬期間の利用や創成川の現状の断面構成から判断すると、本構想で引用しているような温暖な都市の事例を参考にした実現が困難な親水・緑化空間の形成を目指すのではなく、市民や観光客等が四季を通して楽しめるような札幌ならではの気候・風土・歴史的特性を活かした親水空間や緑化空間の整備を目指すべき。	構想に載せている写真は、緑化空間や親水空間をイメージしやすいように、一例として引用しているものであり、ご指摘にありますとおり、札幌の気候、風土等を活かした空間を整備し、北海道を象徴する街並みの形成を図ることが望ましいと考えております。
2	10、11	シンボル性を強く打ち出すため、また近年のオフィス空室率の低さやホテル稼働率の高さといった経済情勢に対応するため、さらには今後予想される需要増加を見越し、北5西1街区には、デザイン性の高い200m～300mの複合ビルを求める。	頂いたご意見にあるような理由も含め、拠点に求められる高次都市機能の集積による土地の高度利用、拠点性を象徴するランドマークの形成が必要だと考えております。具体的な建物規模やデザイン等につきましては、今後地権者、関係事業者の皆様と協議を重ねながら、検討を進めてまいります。
3	10、11	エスタを建替える際は、ステラプレイスの外観に合わせたオシャレなものとしてほしい。	札幌駅南口開発ビルの低層部デザインの踏襲や、軒線・表情線の連続性を確保することで、調和した街並みの形成を目指してまいります。
4	11、16	北海道・札幌を象徴する空間というならば、名古屋などと同じ駅前ツインタワービルではなく、むしろ高層建築を排し、芝生や樹木を取り込んだ空間とすべき。	この街区では地上部の連続的なオープンスペースの確保と、拠点に求められる高次都市機能の集積に伴う土地の高度利用が必要であり、また緑化については、都心のみどりのネットワークをつなぐ、みどり豊かな空間の形成が必要だと考えております。頂いたご意見も参考にさせていただきながら、今後の検討を進めてまいります。

5	12	<p>取組の目標のイメージ図について、創成東地区の「居住の増加」の記載の意図がわからない。P19の整備・検討イメージにあるように創成川の東西をつなぐ理由は、今後の再開発・機能整備の誘導を意図したものと読み取れるが、「居住の増加」を意図したものではないと思われる。また「複合型市街地形成」はわかりにくいいため、説明が必要。</p>	<p>創成東地区においては、居住人口の増加という現状を踏まえ、都心居住の受け皿となる「職・住・遊近接」の複合型市街地の形成を目指しており、それらとの相互連携を意図したものです。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、上記の意図をよりわかりやすくするため、P12に記述を追加しました。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【修正前】 複合型市街地形成</p> <p>【修正後】 <u>職・住・遊近接</u>の複合型市街地形成</p> </div>
6	13	<p>札幌駅におけるショッピング機能の低下を防ぐため、また、多種多様な人々が行き交うための仕掛けとして、北5西1街区での大規模な商業施設の整備、もしくは北5東1街区にも商業施設を作り、創成以東へ人を誘導するといった対応が必要。</p>	<p>商業機能については、駅周辺のにぎわいの連続性を生み出すとともに、北海道の魅力を発信するものとして、必要な機能であると考えております。頂いたご意見も参考にさせていただきながら、今後の検討を進めてまいります。</p>
7	13	<p>札幌駅付近の機能集積について、観光、医療、教育、商業、ビジネス、案内、プロモーションとあまりに広範囲に設定されており、どのような機能を持たせたいのかが不明確なので、もっと他地区との役割分担を考慮し、焦点を絞り込むべき。</p>	<p>この項目については、ここに記載してある機能全てを整備するという考えではなく、先導街区に整備することが望ましい機能を列挙したのになります。これをもとに、今後検討を進めていく中で、実際に整備される機能について絞り込まれていくものと考えております。</p>

8	17	<p>方針5の「帰宅困難者」という表現からは、札幌市民が対象という印象を受けるが、災害時に札幌駅に留まるのは観光やビジネスでの滞在者が中心になると考えられるため、この表現は適切ではない。また、方針7に「退避経路や一時滞在施設となる地下歩行ネットワーク」と記載があり、方針5の「避難・滞在スペースの確保」がこれも指すのであれば、方針5に明記すべき。</p> <p>さらに、避難・滞在に利用できるスペースを札幌駅周辺に確保するのであれば、ターゲットや人数を設定する必要がある。</p>	<p>「帰宅困難者」という言葉は、自宅までの距離が遠く、徒歩による帰宅が困難な者を指す用語であり、観光やビジネスでいらした方も含む言葉です。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、よりわかりやすくするため、P7に注釈を追加しました。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【修正前】 (記載なし)</p> <p>【修正後】 ※帰宅困難者：自宅までの距離が遠く、徒歩による帰宅が困難な者</p> </div> <p>方針5の「避難・滞在スペースの確保」には、地下歩行ネットワークとの連携の他に、新しく整備予定の施設内、屋外空間なども含んでおり、冗長でわかりにくい記載となるのを防ぐため、このような記載としております。</p> <p>また、ターゲット、人数については、平成26年3月に策定されました札幌駅・大通駅周辺地区都市再生安全確保計画で既に設定されております。</p>
9	18、19、20	<p>都心部への交通の一極集中を避けるためには、バスターミナルや駐車場は都心周辺部に再編整備しこれらと地下鉄などとの連絡を強化すべきだと考える。</p>	<p>交通結節機能の強化のため、札幌駅周辺におけるバスターミナルは必要と考えており、駐車場も含め、周辺交通状況を悪化させない施設規模や配置について検討してまいります。</p>
10	19	<p>冬でも快適に過ごすことができ、また、待っている間も楽しく、ベンチや待合のスペースも充分にとったユニバーサルデザインのバスターミナルを求める。</p>	<p>バスターミナル機能の検討において、ゆとりある待合・滞留空間を創出するとともに、街区整備と一体となった利便性の高い空間形成を目指してまいります。</p>

11	19	<p>新幹線施設との連絡方法や乗降客の動線が明らかにされない中で本構想の具体的な展開を図ることは不可能だと考えるが、本構想において新幹線のホームや乗降所をどこに想定しているのか。</p>	<p>ホーム位置については、P 19 の整備・検討イメージ図に示すとおり、札幌駅交流拠点先導街区内を想定しております。</p> <p>今後の新幹線の施設計画検討と連携し、利便性の高い基盤整備を目指してまいります。</p>
12	19、20	<p>創成川通東地区へのアクセス路については、歩行者動線を地下接続とする方法や、眺望空間を創成東地区の建築物に確保するなど、様々な考え方があると思うが、全体的なプランニングの中で最適解が見出されることを期待する。</p>	<p>創成川をはさむ東西の歩行者動線については、周辺街区のまちづくりと一体となって、具体的な検討を進める予定であり、頂いたご意見を参考に、安全で快適な歩行空間の確保に努めます。</p>
13	20	<p>バスターミナルを札幌駅と大通相互の地区にタッチすることは、利用者にとって大きなメリットとなるが、都心部の交通渋滞の影響を受けるだけでなく、バスが原因で慢性的な渋滞を引き起こすことが懸念される。</p> <p>また、バスターミナルを利用者の利便性を優先して西2丁目に設置すると、バスターミナルの出入りに右折や信号が多くなり、大変な混雑が生じることが懸念される。この混雑に対応するためには、創成川通等とのアクセス路を立体交差にするなど、機能性を優先する整備形態が必要である。</p>	<p>札幌駅バスターミナルの位置は北5西2街区を基本として考えておりますが、バスの運行経路や周辺交通への影響、歩行者動線などを勘案するとともに、都心アクセス強化などの関連する取組と連携し、北5西1街区への機能分担や施設の整備形態についても検討してまいります。</p>

14	20	<p>地下歩行ネットワークについては、場所によって柔軟な整備方法を検討すべき。</p> <p>北8条通の西2丁目線と西3丁目線の間については、現在の北口周辺の地下歩道は利用が少なく、北8条通部は他より深い位置にあることから、ここと接続しても、高い事業効果を得ることは難しい。南1条通以南については、地下駐輪場の工事が開始されているため、地下歩道の新たな整備はハードルが高い。夏と冬で駐輪場の用途を変更するなどの工夫が必要。</p>	<p>頂いたご意見のとおり、地下歩行ネットワークの拡充については、整備箇所によって既設の地下施設の位置関係などの状況が異なるため、沿道ビルの開発による地下通路の連鎖や地上での快適な歩行空間の連続性を確保するなど、様々なことを考えてまいります。</p>
----	----	---	---

4 実現に向けた取組の進め方			
意見 番号	該当 ページ	意見の概要	札幌市の考え方
15	21、22	<p>本構想の検討段階で一般市民や学識経験者が参加してきたのか。少なくとも、構想の具体化に向け設立を予定している「まちづくり協議会」には利害関係者や行政関係者だけではなく、一般市民や専門的な知識を有する学識経験者等を参画させることにより、公平で客観性のある計画づくりを目指す必要があると考える。</p>	<p>本構想作成の前段階として、平成24年に有識者を含む委員会にて札幌駅交流拠点再整備構想案が作成されております。その過程で、市民アンケートや市民検討会等を行っており、本構想はその構想案の内容を踏まえ作成したのになります。今後「(仮称)札幌駅交流拠点まちづくり協議会」で検討される「(仮称)札幌駅交流拠点まちづくり計画」につきましても、幅広いご意見を盛り込み、公平で客観性のある計画を目指してまいります。</p>

構想案全般に関すること			
意見 番号	該当 ページ	意見の概要	札幌市の考え方
16	-	路面電車の札幌駅への延伸の有無は、今回の基本構想の根幹に影響する大きな条件になると思われるが、現段階では札幌駅の街区整備にこれを活用することは検討していないのか。平成31年の都市計画決定までに、路面電車の取扱いが決められていなければ、路面電車の札幌駅延伸の実現は極めて難しくなると考えられる。	<p>路面電車の延伸検討については、まちづくりへの効果のほか、自動車交通環境や経営に与える影響も踏まえながら進める必要があり、まずはループ化の効果について検証しているところです。</p> <p>これらの検討状況を見据えながら、街区整備に合わせた交通結節機能の強化を図っていくことを考えております。</p>
17	-	札幌駅の整備の基本は、市民（道民）のくらしの支えであり、それができた後に次の課題に行くのであって、先走った市民不在の構想のように思う。市民を基本にした構想にすべき。	札幌・北海道の国際競争力をけん引する札幌駅交流拠点の機能強化、北海道新幹線の札幌開業を踏まえた交通結節点としての機能強化の必要性から、このような構想を作成しており、本構想をもとに駅周辺の整備が進んでいくことで、市民の皆様のくらしを豊かにしていくものと考えております。今後の検討についても、ご指摘のように市民不在で進んでいくことのないよう注力してまいります。
18	-	今後の札幌の発展及び活性化にむけては、札幌駅前整備だけでなく、大通東1丁目、地下歩道延伸ループ化、創成川東開発整備が一体となって整備及び活性化が進むような計画とすることが望ましく、札幌駅南側からすすきの、中島公園までと創成側東ブロックを、観光客などの人の流れが面的に回り巡るような整備計画となることを望む。	ご指摘のとおり、都心部において進められるそれぞれの整備は、一体性をもって進められることが望ましく、観光客などの人の流れにつきましても、都心全体として考えることが必要です。それが実現できるよう、庁内での連携をしっかりと取りながら進めてまいります。

19	-	南8条西2丁目の公文書館や市民活動プラザは、利用者が特定な形なので、多くの一般市民が訪れるような、効率的な土地利用の計画を望む。	ご指摘のとおり、多くの方々に利用していただける施設の整備を目指してまいります。
20	-	上位計画である第2次札幌市都市計画マスタープランにおいて本構想の位置づけが記載されている箇所と、本構想においてマスタープランとの関連性を記載している箇所はどこか。特に、マスタープランの中で都心部の将来像の実現に向けた取り組みの方向性として挙げられている「MICE 環境の整備」や「グリーンビル化の推進」、「魅力あるライフスタイルの実現」についてどう考えているか。	<p>上位計画での本構想の位置づけについては、マスタープランP3の「他の分野別計画」の一つである「第2次都心まちづくり計画」、さらにその下位にある「エリア別計画」として整理しております。本構想内では、P2、P4で上位計画との関係を示しており、ここにある「各種上位計画」に、マスタープランは含まれております。</p> <p>「MICE 環境の整備」については、P21「4.実現に向けた取組の進め方」に記載のとおり、都心部での整備に向けて別途検討を進めております。「グリーンビル化の推進」については、最先端の環境配慮型建築の整備を目指しております。「魅力あるライフスタイルの実現」については、本構想に掲げている空間が整備されることで、達成されるものであると考えております。</p>
21	-	札幌駅周辺だけに多額の資金をつぎ込み再開発を行うことで、他の地域の整備がおろそかになるのではないか。	札幌駅周辺のまちづくりは、本市の最上位計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を実現する中期実施計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」のリーディングプロジェクトに位置づけられており、他の地域に配慮しつつも、世界都市・道都としての魅力向上のため重点的に取り組んでいかなければならないと考えております。

札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想

発行：平成 29 年（2017 年）2 月

企画・編集：札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室都心まちづくり課
札幌市まちづくり政策局総合交通計画部交通計画課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

TEL：011-211-2692 FAX：011-218-5112（都心まちづくり課）

011-211-2275 011-218-5114（交通計画課）

URL：<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/sapporoeki/sapporoeki.html>

E-MAIL：ki.downtown@city.sapporo.jp（都心まちづくり課）

sogokotsu2@city.sapporo.jp（交通計画課）



さっぽろ市
01-B01-16-2120
28-1-170

SAPPURO